

団体名 <b>豊見城市立伊良波中学校</b>	連絡先 TEL : 098-850-2791 メール : <a href="mailto:jh-iraha@city.tomigusuku.okinawa.jp">jh-iraha@city.tomigusuku.okinawa.jp</a>
---------------------------	--

## 1 実践事項

生徒の自己存在感や自己肯定感を高め、「確かな学力」を身に付ける授業づくり

## 2 実践内容

(1) めざす授業像を全教科共通で実践する

- ①早めに教室に入る ②黙想させる ③本時の「めあて（目標）」の設定  
 ④主体的、対話的で深い学びの実現 ⑤本時の「まとめ」 ⑥振り返り

(2) 学習規律の徹底や教室環境を整える等、学習を支える力の育成を図る

(3) 校内研修と関連した取り組み

- ・一人一研究授業を実施し、生徒が主体的に活動する授業の工夫改善を図る。
- ・ICT 機器の効果的な活用と、生徒指導の4機能を踏まえた授業改善に取り組む。

(4) 「授業と連動した家庭学習（宿題）」及び「自主学习」の推進

- ・全校共通の取り組み ワークやプリントを準備し、曜日ごとに提出する教科を決める。  
 (月：国 火：社 水：数 木・理 金：英)
- ・生徒は登校後、所定の場所に提出する。
- ・点検は生徒会学習委員を活用し、教科担当は評価に反映させる。

(5) 生活リズム確認週間の取り組み

- ・学力向上強化月間の期間に合わせて、年3回（5月、9月、1月）取り組む。
- ・プリント『1週間の生活リズムを確認しよう』を用意し、1日の生活の流れを1週間分記入し、そのふり返りも記入する。担任は、教育相談や三者面談等で活用する。

(6) 外部講師を活用した授業の取り組み

- ・世界のウチナンチュから学ぶ ・車椅子トラベラー講演会 ・SDG sについて考える
- ・LGBT 講演会 ・福祉講演会 ・先輩に学ぶ会 ・いじめ防止授業 ・職業人講話 等

(7) 体験活動を通じた授業の取り組み

- ・障害者スポーツ体験 ・平和学習（旧海軍豪公園見学） ・修学旅行京都市内エリア学習 等

## 3 説明資料（写真、グラフ、図、表など）

	家庭学習の内容	提出日	返却先
国語	授業で扱ったワーク 巻末20～43	毎週	本人
社会	社会科ワークブック 20～43	毎週授業	教科係
数学	家庭学習ワーク 3年単元「関数」 4年単元「図形」 5年単元「図形」	毎週授業	本人
理科	3年単元「関数」 4年単元「図形」 5年単元「図形」	毎週授業	教科係
英語	News-English Workbook P. 60～61	毎週	本人

家庭学習の取り組み



一人一研究授業



障害者スポーツ体験

## 4 成果

- 外部の人材を活用した授業が数多くでき、子どもたちの自己存在感、自己肯定感が高まった。
- ICT 機器を活用した各教科の授業改善が進み、生徒が主体的に活動する授業が増えた。

## 5 課題

- コロナの影響や場所の制限などで、リモートを活用する場面が多かったが、ネット環境の脆弱性や接続等のトラブルで、時間をロスする場面があった。
- 補習や個別指導の際、場所や時間の確保が難しく、取り組みが十分ではなかった。